

ひらつか

県立高浜高等学校(高浜台8-1)3年生の
(写真左から)古賀俊宏さん、清水萌里さん。今年
18歳になり選挙権
を得る3人は、7月
の参議院議員選挙
で初めての1票を
投じます。今号では、
若い世代の投票率を
上げるための取り組みを紹介します。



目次	1～3面… 特集 委ねるのではなく自らの手で…投票率を上げる取り組みなどを紹介します。	8面…「写真リポート」「がんばれ湘南ベルマーレ」「フォト歳時記」「市長こらむ」 広報ひらつかのPDF版と電子書籍版やデジタルアーカイブは、市ウェブからご覧いただけます。	●発行 平塚市 ●編集 秘書広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 ㊚0463-23-9467
	4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ 「子どもの健康」「お知らせ掲示板」など		

委ねるのではなく自らの手で

平成27年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。市では新たに有権者となる高校生らに、選挙を身近に感じてもらうため、出前講座や啓発活動をしています。

問 選挙管理委員会事務局 ☎21-8795

高浜高校の体育館で配られた資料に目を通し、説明に耳を傾ける生徒。同校では5月23日に市選挙管理委員会事務局の職員が、クイズを交えながら選挙の仕組みや投票の方法

法などを2・3年生46人に教える、出前講座がありました。「模擬投票などの体験を通して選挙に関心を持ち、身近に感じてもらうたいですね」と同事務局の武田仁局長代理

は話します。同事務局では、市内の高校で模擬投票への協力や出前講座を実施するほか、18〜29歳の若年層の期日前投票立会人を募集。10人の応募がありました。

若者の声を届ける

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた背景には、少子高齢化が進み、高齢者の人口の割合が増える一方、若者の人口の割合が減っていることが挙げられます。若年層の有権者数を増やすことで、若い

世代の意見が、国や市などの政策に、反映されやすい社会をつくるのが狙いです。

同校3年生の古賀俊宏さんは「高齢者の福祉政策も重要ですが、待機児童などの子育て問題がニュースで取り上げられるなど、若い世代が後回しにされているように感じます」と不安を口にします。幼

少のころに母親についていた投票所。7月の選挙では自分の意志で足を運ぶと言います。「僕たち若い世代と高齢者世代では、学校や社会で働く環境も変わっていると思いま

す。1票を投じることで、当時と現在では生活環境が違うということを社会に伝えたい」と意気込みます。



古賀 俊宏さん

選挙をきっかけに関心を広げる

「投票は大人がするイメージ。選挙権を持つ実感が湧かない」と話すのは3年生の清

水萌里さん。「投票する気はあるけど、誰を選べばいいのか……」と困惑します。

公益財団法人明るい選挙推進協会が平成25年に実施した意識調査では、20〜30歳代の棄権理由は「政党の政策や候補者の人物像など、違いがよく分からなかったから」が

19・2割と、若い世代では清水さんのように、選択肢に困る方が多くいます。また、「選

挙に関心がなかったから」が23・4割と最も多く、「仕事があったから」が22・2割、「適当な候補者がいなかったから」が21・3割と続きます。

候補者を選ぶには、日頃からニュースを見るなど情報収集をして、候補者や政党の政策を知ることが大切です。しかし、時間をかけられないという方は、選挙公報や新聞記事など、政策がまとめられ、



清水 萌里さん

20歳代の若者の投票率が低いのは、自分にとってリアルに感じる選択肢が見えず、候補者や政党を選択しようにも判断がつかないからではないでしょうか。物心ついた時から「ダメ」な政治という先入観を持つ若者らにとって、「棄権」こそがリアルな選択であっても不思議はありません。

また、情報の発信源を気にすることもなく、インターネット情報だけで物事が「分かったつもり」になってしまいう若者も少なくありません。投票するには一つの情報にとらわれず、物事を複眼的に見ることも大切です。

議論を促す

最近まで教育の現場では政治的中立が重視されてきたため、授業で政策課題を取り上げることには及び腰でした。これからは、教育者が論点を整理し、若者とともに事実を確認し、公平なやり方で、議論を促し

主権者として社会に関わる

東海大学政治学科 秋本富雄准教授

ていくことが必要です。文部科学省では、社会の問題を自分の問題として捉え、自ら判断し、行動していくための「主権者教育」を学校などに働きかけています。言い換えれば、選挙が「若者にとってリアルな選択」を伴う行為になるためには、ボランティア団体と学生らが交流する機会をより増やすなど、「自分が社会に関わる意味がある」と感じるための環境づくりをしなければならぬのです。

貴重な経験を

投票する候補者や政党を選べないという方は、候補者らが身近なことに對して、どのような政策を提案しているかを少しだけでも調べてみてください。例えば結婚や出産、育児など、若い世代の男女が直面する問題は、その世代の投票率が上がらなければ議題にならないまま、解決は遠のいてしまいます。初めて選挙権を得た方は、誰に投票するか大いに迷いつつ、選挙に行く経験をしてみてください。思うような結果にならずとも、その経験は貴重なもので、次の投票に必ず生きてきます。今の自分が納得できる1票を投じてほしいですね。



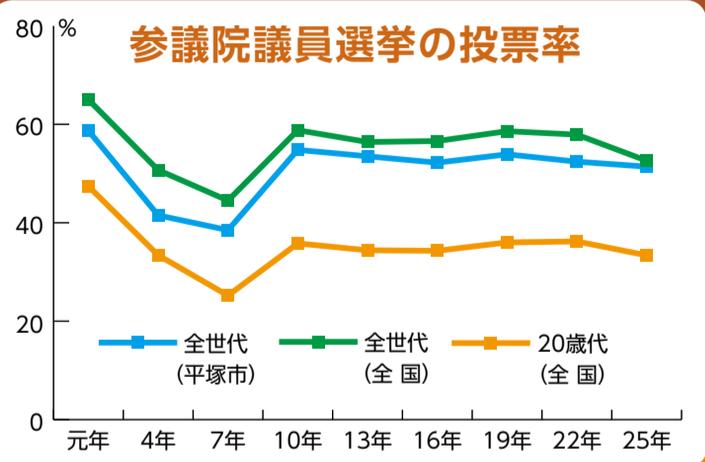
「投票しやすい環境づくりは大人の責任」と話す秋本准教授



出前講座ではクイズを出題し、考えながら選挙の仕組みを学びます

30代台で推移する低い投票率

参議院議員選挙の投票率は平成4年以降、全世代ではほとんどが50代台に対し、20歳代は30代台で推移しています。20歳代は他世代と比べ、極めて低い投票率です。



「た情報に目を通すのも一つの手段です。」

新たに5000人の有権者

3年生の赤石澤春奈さんは「私たち3年生の中では、7月の選挙で選挙権を持つている人は少数です。しかし少数の私たちが投票することで、友達との会話で選挙の話題が出るはず。周りの環境から変えていけば、政治や選挙に関心を持つ人たちも増えて来ると思います」と話します。

高校3年生でも、7月の選挙では投票できる生徒とできない生徒がいます。7月10日の選挙は、翌11日までに18歳の誕生日を迎える方が新たに選挙権を得ることになります。市内では、新たにおよそ5000人が有権者になると予想されます。

清水さんは「何もせず自



赤石澤春奈さん

分の意見が反映されていないと思うのをおかしいと思う。今まで言いたいことがあっても誰に言えたいのか分からなかった。でも今回、選挙権を持つことをきっかけにして、私たち若者の思いを大人たちに伝えていきたい」と力強く話します。

選挙は投票すれば終わりではなく、社会をより良くするためのスタートです。自分の意志を国や市などに反映できるように、納得できる投票をして、その後の政治に関心を持つことが大切です。

イベントで地道に呼び掛け

市明るい選挙推進協議会

4月29日に開かれた緑化まつりで投票を呼び掛ける、明るい選挙のイメージキャラクター「めいすいくん」(下写真)。市内のイベントでは、めいすいくんとともに市明るい選挙推進協議会が、啓発活動を行っています。

「成人式をはじめ、市内の行事でティッシュなどの啓発物を配って、選挙に関心を持ってもらうように地道に活動しています」と副会長の三村明子さんは話します。

その他にも、啓発標語を一般の方や中学生から募集し、入選作品は駅前にある啓発塔や配布物に入れています。

「選挙はその時の政治の状況や世論の動向、候補者や政策などに左右されるので、投票率が低いと活動が報われな



会員とともにめいすいくんも選挙をPR

いこともあり」と苦笑する三村さんは、地域の方に勧められて同協議会に入会。30年間、啓発活動を続けています。「誰かがやらねばとの思いで活動してきました」と力を込めます。

同協議会は定期的に会員を対象とした研修を開催。昨年は選挙権年齢18歳引き下げについて学びました。「18歳の若い方は経済的に自立しておらず、勉強や仕事で忙しい方も多いと思います。しかし、そういう若い方に、1人でも多く投票所に足を運んでいただけると、地道に活動を続けていきたい」と話します。

知ってる? 選挙のあれこれ

最初に来た人は?

投票所に一番乗りした人は、投票箱に投票用紙が1枚も入っていないことを立会人とともに確認します。

投票用紙に秘密が?

投票用紙は特殊な合成紙でできています。折り曲げてもしばらくすると自然に開くので、後の開票作業がスムーズになります。

開票作業を手助けする機械?

投票用紙自動読取分類機(写真)は平成19年から市で導入され、政党名や候補者名などの手書き文字が書かれた投票用紙を1分間に500枚も判別できます。現在は1分間に660枚も判別できる機種を導入し、合計6台で迅速な開票作業を手助けしています。



参議院議員通常選挙の投票日

7月10日(日) 午前7時～午後8時

県選出議員選挙と比例代表選出議員選挙の二つの選挙です。投票所の駐車台数には限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

◆投票所入場整理券

投票所入場整理券は、封書(1世帯1通)で郵送します。投票所を確認し、自分の氏名が表示されている整理券を投票所へお持ちください。整理券が届かなかつたり、紛失したりした場合は、市選挙管理委員会事務局にお問い合わせください。整理券を紛失しても、選挙人名簿に登録されていれば投票できます。投票所で申し出てください。

◆選挙公報は新聞折り込みで

候補者の政見を掲載した選挙公報は、新聞

折り込みでお届けします。市役所や公民館などにもあります。新聞(朝日・神奈川・産経・東京・日経・毎日・読売)を購読していない方には郵送します。また、県選挙管理委員会ウェブでもご覧いただけます。

◆病院や老人ホームで投票

指定病院や指定老人ホームなど、不在者投票指定施設に入院・入所している方は、施設で不在者投票ができます。施設長に申し出てください。

◆期日前投票は3カ所

投票日の当日に仕事やレジャーなどで投票できない方は、期日前投票ができます。投票所入場整理券を持って、次の期日前投票所へお越しください。①市役所別館1階仮設事務局

(江陽中学校北側)6月23日(木)～7月9日(土)、午前8時30分～午後8時②金目公民館(南金目966)・神田公民館(田村3-12-5)7月3日(日)～9日、午前9時～午後6時。

◆郵便で不在者投票

身体障がい者手帳・戦傷病者手帳・介護保険者証(要介護5)をお持ちの方で、一定の条件に該当する方は、郵便で投票できます。「郵便等投票証明書」の交付申請の手続きがあらかじめ必要です。希望する方は早めに市選挙管理委員会事務局にお問い合わせください。

「郵便等投票証明書」をすでに交付されている方は、証明書を添えて投票用紙を事務局に請求してください。請求期限は7月6日(水)です。

〆 選挙管理委員会事務局 ☎21-8795

楽しみながら農業を応援したい

援農ボランティア制度は、後継者不足や高齢化による人手不足に悩む農家と、農業をサポートしたい市民とを組み合わせる事業です。今回、ボランティアを受け入れている吉野伸司さんの、公所にある畑を訪ねました。

額ににじむ汗を拭こうともせず、農作業に没頭する栢之間理沙さん。「太陽の下で土に触れ、できた野菜を見て、素晴らしいまちに住んでいる実感が湧きます」と笑

顔を見せます。栢之間さんは普段、鍼灸師として市内で働いています。人の健康を考えるうちに、野菜などの食材や、地産地消を強く意識するようになり、自然に農業への興味が湧いてきました。自身も野菜作りに携わりたいとの思いが次第に大きくなり、援農ボランティアに応募しました。

援農研修を受けた栢之間さんは、ボランティアとして登録され、吉野さんの畑に通うことになりました。吉野さんは、夫婦でトマトやキュウリ、キャベツなどの露地野菜を栽培しています。収穫に備えて、草刈りや、台風・集中豪雨対策など、多くの作業に追われています。約6,000平方メートル(テニスコート約23面分)の畑を管理するため、人手が足りずに悩んでいて、市に相談したところ、援農ボラン



栢之間さんは笑顔で農作業の楽しさを話します



キュウリのツルを支柱に固定する吉野さん

ティア制度を紹介されました。

吉野さんは「栢之間さんのおかげで、農作業の雰囲気も明るくなり、夫婦げんかがなくなったよ」とほほ笑みます。「季節を感じながら農業を体験できる。天候に左右されるのも、露地野菜ならではの健康維持のためにも、多くの人に参加してほしいね」と続けます。

栢之間さんは、「農業の楽しさを皆さんに知ってもらいたいですね」と笑顔で話していました。

援農ボランティアになりませんか

次の条件を全て満たす方①高校生を除く18歳以上で健康②市内在住③援農研修に3回参加できる。

作業内容は受け入れ農家により変わります。詳しくは市ウェブをご覧ください。

豊原分庁舎2号館の農水産課 ☎35-8102や市ウェブにある申込書を、電話連絡の上直接、同課へ。

募 集

応募方法は 下段

市民活動を体験

市内または近隣市町に在住・在勤・在学の中学生以上の方100人(先着順)。どちらかに必ず出席してください。7月16日・23日の土曜日、午後2時～4時。市民活動センター。

ボランティア体験

7月17日(日)～9月30日(金)。参加する日数は自由です。

必要事項・学校名と学年または勤務先と年齢を、電話・メールで、市民活動センター ☎21-7517(hira-sc@nbscu-ne.jp)。

ちびっ子囲碁入門教室

各全5回。市民センター。囲碁を覚えたい小・中学生、各コース40人(先着順・初めの方を優先)。①7月27日(水)～8月5日(金)、午前9時30分～11時30分②8月21日(日)～26日(金)、午後1時30分～3時30分。

必要事項・学年・希望コースを、はがきで、〒254-0045見附町15-1まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237へ。

市営プール売店の出店者

7月23日(土)～8月18日(木)に、湘南海岸公園プール(高浜台32-1)で、飲食物や浮輪などを販売します。

市内に1年以上在住で、売店と同じ業務を1年以上営み、市税の滞納がない方1店舗(抽選)。5万円。6月20日(月)～24日(金)、

地域づくり市民大学

担い手の育成など、地域づくりの手法を学びます。市民活動センターや旭北公民館(河内40)など。抽選。

公開講座 7月24日(日)午後1時30分～4時30分。80人。基礎編 8月27日～10月15日の土曜日、全3回、午前10時～午後3時(8月27日は午後1時30分～4時30分)。30人。500円。

応用編 11月5日～12月10日の土曜日、全3回、午後1時30分～5時。30人。500円。公民館などにある申込書を、ファクス・メールまたは直接、7月15日(金)までに、中央公民館 ☎34-2111 FAX 35-2537(chuo-k@)。

各公民館でも応募できます。

子ども大学ひらつか

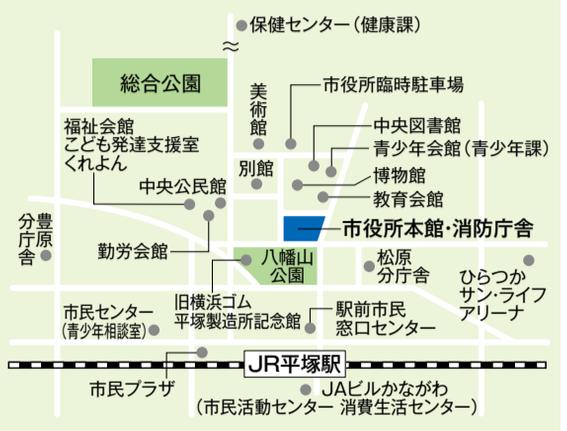
英語を楽しく学びます。7月28日(木)・29日(金)、全2回、午前9時30分～午後2時。神奈川県湘南ひらつかキャンパス(土屋2946)。

市内在住・在学の小学校3・4年生で、2回とも参加できる方30人(抽選)。送迎は保護者同伴で。

必要事項・学校名・学年・性別・保護者氏名を、はがき・ファクス・メールで、7月8

応募方法

- 募=応募方法 (応募が必要です)
- 問=問い合わせ
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、6月20日(月)午前8時30分から、受け付けます。
- メールの応募の場合 city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例	
往復はがき	郵送・ファクス・メール
住所 氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
返信	返信



里山には手作りのシーソーも

夏休み子ども環境教室

市内在住・在学の小・中学生。抽選。保護者同伴。①里山編 里山体験や昆虫探しなどをします。8月6日(土)午前9時～正午。荒天の場合は7日(日)に延期。里山体験フィールド(土

日(金)までに、社会教育課 ☎35-8123 FAX 34-5522 (k-shakai@)。

市民広島派遣の参加者

8月6日(土)に広島市で平和記念式典に参加します。5日(金)～7日(日)の2泊3日。7月16日(土)に事前打ち合わせ会、8月24日(水)、

屋1076付近)。60人。②海岸編 相模湾に住む動植物の講義や、海岸で植物の観察などをします。17日(水)。午前9時45分～11時30分。雨天の場合は講義のみです。南部福祉会館(袖ヶ浜20-1)。20人。必要事項・参加者全員の必要事項・年齢を、はがき・ファクス・メールで、①は7月20日(水)②は8月10日(水)までに、環境政策課 ☎21-9762 FAX 21-9603 (kankyo-seven@)。

個人情報保護制度 個人情報の取り扱いによる個人の権利・利益の侵害を防止する制度です。

保有個人情報の開示などの請求23件(開示15件、一部開示7件、拒否・文書不存在0件、その他1件)。開示などの決定に伴う不服申し立て0件。個人情報保護運営審議会

行政文書の公開請求98件(公開53件、一部公開36件、拒否・文書不存在3件、その他6件)。公開決定による不服申し立て1件。公開した審議会などの会議27回。

情報公開制度 市が持っている行政情報を知るための制度です。本館5階の市政情報コーナーで行政資料が閲覧できます。

情報公開制度などの平成27年度の実施状況

お知らせ

に事後まとめ会をします。全日程に参加できる、市内在住の小学校4年生(中学生と保護者)①2人1組を6組②4人1組(児童・生徒2人と保護者2人)を2組。②は2家族で4人1組でも参加できます(抽選・過去に参加したことがある方は応募できません)。保護者2万1000円・中学生1万9000円・小学生1万4000円。旅行業者は日本旅行藤沢支店(観光庁長官登録旅行業第2号・藤沢市鶴沼石上1-5-4三井生命藤沢ビル4階)。

親子で生け花と陶芸にチャレンジしませんか
青少年会館。抽選。初めての方を優先。
親子生け花教室 7月22日・8月5日の金曜日、全2回、午後2時〜3時30分。どちらか1回の参加もできます。市内在住の小学生と保護者30人。1人1500円(どちらか1回の参加は800円)。タオル・筆記用具。 7月23日〜8月13日の土曜日、全3回、午前10時〜正午。市内在住の小学生と保護者60人。1人1000円。汚れてもよい服装でお越しください。

おもしろ音楽講座
合唱の基礎や、音楽表現などを楽しみながら学びます。 7月22日〜8月26日の水・木曜日、全10回、午前9時30分〜11時30分。市民センター。小学生以上の方50人(先着順)。1000円、高校生以下500円。持っていない方は楽譜代500円。

暮らしの講座
食を中心とした、生活習慣を改善する方法を学びます。1〜5歳児の保育(4人・先着順)もあります。 6月30日(木)午後1時30分〜3時。市民活動センター。市内在住・在勤・在学の方50人(先着順)。

ハーマニカ入門講座
7月6日〜9月27日までの火・水曜日、全10回、午前10時〜正午。市民センター。9月27日は発表会をします。初心者の方30人(先着順)。21穴の複音ハーマニカC調(初回に販売もします)。1万円。

小・中学校交流囲碁大会
8月20日(土)午前9時20分〜午後3時15分。教育会館。市内または近隣市町に在住の小学生、中学生。3人1組を30組程度(抽選)。弁当・飲み物・筆記用具。

市内の小・中学校または公民館にある申込書を、7月14日(木)までに、郵送・ファクスまたは直接、豊原分庁舎1号館2階の教育総務課 ☎35-8113 ㊟36-7555 へ。市内の小・中学校や各公民館でも直接、応募できます。

新庁舎建設を進めています
現在は、本館の北側と西側で低層部分の工事を行っています。



本館に低層部分を接続しています

市内の企業を支援します
企業立地促進補助金 新規立地や既存の工場などを拡張し、一定規模以上の投資を行った場合、累計5億円を限度に、固定資産税などの相当額の2分の1を7年間助成します。また、新たに市内の賃

中小企業設備投資促進助成金
中小企業が事業拡大、新製品開発などで2000万円以上の設備投資をした場合に、300万円を限度として、購入額の2割または5割を助成します。

産業振興課 ☎21-9758
お問い合わせください。

ダイオキシン類の測定結果
平成27年度の測定結果は、全て基準値以下でした。対象は、環境事業センターごみ焼却施設(大神3230)の排出ガスと、遠藤原一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設(土屋585)の放流水です。

環境施設課 ☎55-0122

七夕まつり交通規制

7月8日(金)〜10日(日)に開催する「第66回湘南ひらつか七夕まつり」により、JR平塚駅周辺では交通規制をします。詳しくは七夕まつり公式ウェブをご覧ください。

☎ 商業観光課 ☎35-8107

交通規制

- 7日午後9時〜10日午後11時
- 8・9日午前8時〜午後9時30分
- 10日午前8時〜午後9時
- 8日正午〜午後9時30分
- 9日午前10時〜午後9時30分
- 10日午前10時〜午後9時
- 8日正午〜午後9時30分
- 9日午前10時〜午後9時30分
- 10日午前10時〜午後9時 (路線バス・タクシー・ハイヤー除く)